

留学生寮におけるドネーションシステム

【社会的背景】

物を長く使えば環境に優しい。しかし半期ごとに留学生が入れ替わる留学生寮では、その度に大量の不要物が排出されていた。また、初期の桑の木留学生宿舎レジデント・アシスタントは寮内での交流に必要な資金や物品を大学や教員に頼って運営していた。

【活動の目的】

ごみ問題の解消

半年や1年など短期間しか使用されていない物品が捨てられることを防ぐ。持ち主を変えて繰り返し使用することで、ごみを削減する。

国際交流の機会の提供

得た利益はイベントや共有物の購入により、世界中から集まった寮生の交流機会として寮生に還元する。

【活動の概要】

桑の木留学生宿舎のレジデント・アシスタントが自治活動の一環で岡山大学の留学生寮（桑の木留学生宿舎・国際学生シェアハウス・福居留学生宿舎・国際交流会館）を退寮する留学生から不要な生活用品を集め、次期の新入寮留学生に安価で売っている。また、取組みによって得た利益は寮生に還元している。寮内イベントを定期的で開催したり、卓球台等の共有物を購入したりすることで寮内の国際交流を促進している。

【期待される効果】

- ・ごみの削減
- ・留学生に対する日本のごみの捨て方の啓発
- ・国際的な交流機会の創出

